



㊦ ミニハクサイを育てよう

頂上部詰まったら収穫

ミニハクサイは高さが20～25センチ、重さ500～800グラム程の小さなハクサイです。近年、核家族化が進み、登場しました。一度に使い切れる大きさが人気です。播種後50～55日程度で収穫でき、葉がシャキッとした歯応えで食感にも優れ、いため物や漬物、鍋物、そしてサラダなどに好適です。

①畑の準備

播種の2週間前までに、1平方メートルあたり苦土石灰150グラムを施し、深く耕します。その1週間後にうね幅60～70センチ、深さ5～10センチの溝を切って、元肥として1平方メートルあたり堆肥2キログラム、化成肥料（成分15：15：15）100グラムを施し、耕してから表面を平らにします。

②播種

うねの中央に空きビンなどの底を利用して25～30センチの間隔に深さ5センチの浅いまき穴をつけ、1カ所に4、5粒ぐらい播種し、5センチ程度の覆土をします。市販の苗を購入する場合は、本葉が3、4枚ぐらいの葉色の良いものを選びましょう。

③間引き

苗の成長を見ながら、2回に分けて間引きをします。1回目は本葉2、3枚のころ1カ所に2、3本、2回目を本葉5枚のころ1本になるように間引きます。間引きしたものは、みそ汁や浅漬けに利用できます。

④追肥と土寄せ

間引きを終えたら、追肥用化成肥料を1株あたり、1回目は10～20グラム、2～3回目は、20～30グラム程度を施し、軽く中耕をして土寄せをします。結球が始まったら根を傷めるので、中耕・土寄せはしません。

⑤防寒

結球がほぼ完了したら外葉でつつみ、ワラやヒモで肩の部分をしぼって寒霜害等を防ぎます。

⑥病虫害防除

病気では、モザイク病、軟腐病、べと病など。害虫ではアブラムシ（ヌイ）、コナガ、ヨトウムシ、カタツムリ、キスジノミハムシ、シンクイムシなどが発生します。防除は登録のとれた農薬で初期防除に努めます。

⑦収穫

結球したミニハクサイの頂上部分を手でお試みて、詰まっていれば収穫できます。

（鹿児島市都市農業センター）

